

令和5年1月31日

千葉県報第13807号別冊

# 千葉県 の 公 営 企 業

第 105 回

令 和 4 年 度 下 期

# 目 次

1. 上水道事業会計	
I 令和4年度上期の事業概況	3
1. 事業の概況	3
2. 経理の状況	4
II 令和3年度の決算状況	8
1. 事業の概況	8
2. 経理の状況	9
2. 工業用水道事業会計	
I 令和4年度上期の事業概況	15
1. 事業の概況	15
2. 経理の状況	16
II 令和3年度の決算状況	20
1. 事業の概況	20
2. 経理の状況	21
3. 造成土地管理事業会計	
I 令和4年度上期の事業概況	27
1. 事業の概況	27
2. 経理の状況	29
II 令和3年度の決算状況	33
1. 事業の概況	33
2. 経理の状況	35
4. 病院事業会計	
I 令和4年度上期の事業概況	41
1. 事業の概況	41
2. 経理の状況	46
II 令和3年度の決算状況	50
1. 事業の概況	50
2. 経理の状況	55
5. 流域下水道事業会計	
I 令和4年度上期の事業概況	61
1. 事業の概況	61
2. 経理の状況	62
II 令和3年度の決算状況	66
1. 事業の概況	66
2. 経理の状況	67

# 1. 上水道事業会計

# I 令和4年度上期の事業概況

## 1. 事業の概況

千葉県上水道事業は、昭和11年に給水を開始して以来、お客様に安全でおいしい水を安定して供給することを最大の使命として、事業運営に努めてきたところです。

本期は、『千葉県営水道事業中期経営計画』（計画期間：令和3年度～令和7年度）に基づき、基本理念「いつでも、安全でおいしい水を安定して供給し、お客様が安心し、信頼を寄せる水道」の実現に向けて、事業の推進を図りました。

### (1) 工事の状況

本期の主な工事としては、柏井浄水場西側施設において汚水池設備の更新工事を実施しました。

### (2) 給水及び業務の状況

本期における給水栓数は147万736栓、給水量は1億5,764万7,902立方メートル、有収水量は1億4,986万439立方メートルであり、前年同期と比べ給水栓数は1.2パーセント増加し、給水量は1.2パーセント減少、有収水量は3.5パーセント減少しました。

## 給水及び業務の概要について

区 分		給 水 栓 数	給 水 量	有 収 水 量
令和4年度上期		1,470,736 <sup>栓</sup>	157,647,902 <sup>m<sup>3</sup></sup>	149,860,439 <sup>m<sup>3</sup></sup>
令和3年度上期		1,452,795	159,585,667	155,217,101
比 較	差 引 き	17,941	△1,937,765	△5,356,662
	増 減 率	1.2%	△1.2%	△3.5%
				有収率 4年度上期 96.5% 3年度上期 97.3%

2. 経理の状況

(1) 予算の執行状況（令和4年4月1日から令和4年9月30日まで）

ア 収益的収入及び支出

収 入

(単位：千円)

区 分	予 算 額			執 行 額	執 行 率
	現 年 度 分	繰 越 分	計		
水道事業収益	82,995,324		82,995,324	40,547,707	48.9 %
営業収益	69,795,688		69,795,688	33,549,200	48.1
営業外収益	13,199,636		13,199,636	6,988,505	52.9
特別利益				10,002	

支 出

(単位：千円)

区 分	予 算 額			執 行 額	執 行 率
	現 年 度 分	繰 越 分	計		
水道事業費用	79,132,013	90,396	79,222,409	40,442,095	51.0 %
営業費用	76,820,376	90,396	76,910,772	39,465,738	51.3
営業外費用	2,190,116		2,190,116	969,016	44.2
特別損失	21,521		21,521	7,341	34.1
予備費	100,000		100,000		

イ 資本的収入及び支出

収 入

(単位：千円)

区 分	予 算 額			執 行 額	執 行 率
	現 年 度 分	繰 越 分	計		
資 本 的 収 入	26,079,001	8,646,201	34,725,202	2,059,585	5.9 %
企 業 債	22,500,000	8,500,000	31,000,000	1,500,000	4.8
工 事 負 担 金	2,208,446	146,201	2,354,647	213,298	9.1
開 発 負 担 金	1,109,439		1,109,439	262,656	23.7
受 託 事 業 収 入	6,469		6,469	83,615	1,292.5
そ の 他 資 本 収 入	254,647		254,647	16	0.0

支 出

(単位：千円)

区 分	予 算 額			執 行 額	執 行 率
	現 年 度 分	繰 越 分	計		
資 本 的 支 出	69,972,087	19,809,505	89,781,592	59,837,982	66.6 %
建 設 改 良 費	56,856,767	19,809,505	76,666,272	53,350,973	69.6
拡 張 工 事 費	458,256		458,256	184,745	40.3
企 業 債 償 還 金	12,406,178		12,406,178	6,173,243	49.8
年 賦 償 還 金	250,886		250,886	129,021	51.4

## (2) 損益計算書

(令和4年4月1日から令和4年9月30日まで)

(単位：千円)

費 用		収 益	
科 目	金 額	科 目	金 額
営 業 費 用	29,749,323	営 業 収 益	30,581,685
原水及び浄水費	8,616,642	給水収益	29,276,034
配水費	1,952,847	分水収益	354,390
給水費	1,632,975	受託工事収益	74,512
受託工事費	82,464	その他の営業収益	876,749
業務費	2,058,804	営業外収益	6,698,223
総係費	677,416	給水申込納付金	1,877,029
減価償却費	14,194,977	受取利息及び配当金	2,024
資産減耗費	531,302	長期前受金戻入	3,734,043
その他の営業費用	1,896	雑収益	1,085,127
営業外費用	968,446	特別利益	10,001
支払利息及び企業債取扱諸費	968,406	過年度損益修正益	9,642
雑支出	40	その他特別利益	359
特別損失	6,685		
過年度損益修正損	6,685		
当期純利益	6,565,455		
合 計	37,289,909	合 計	37,289,909

## (3) 貸借対照表

(令和4年9月30日現在)

(単位：千円)

資 産		負 債 及 び 資 本	
科 目	金 額	科 目	金 額
固 定 資 産	748,312,296	固 定 負 債	134,051,230
有 形 固 定 資 産	609,760,556	企 業 債	127,654,674
土 地	42,678,383	年 賦 未 払 金	1,447,774
償 却 資 産	1,124,147,018	リ ー ス 債 務	274,328
減 価 償 却 累 計 額	△613,502,170	引 当 金	4,663,523
建 設 仮 勘 定	56,437,325	そ の 他 固 定 負 債	10,931
無 形 固 定 資 産	136,116,385	流 動 負 債	20,935,183
投 資 そ の 他 の 資 産	2,435,355	企 業 債	6,232,934
流 動 資 産	53,082,257	リ ー ス 債 務	99,102
現 金 預 金	32,392,302	未 払 金	6,181,683
未 収 金	7,495,770	年 賦 未 払 金	112,799
未 収 金 貸 倒 引 当 金	△46,035	前 受 金	1,246,551
貯 蔵 品	243,857	そ の 他 流 動 負 債	7,062,114
前 払 金	10,570,062	繰 延 収 益	209,036,007
前 払 消 費 税 及 び 地 方 消 費 税	202,106	長 期 前 受 金	393,257,188
そ の 他 流 動 資 産	2,224,195	長 期 前 受 金 収 益 化 累 計 額	△184,221,181
		負 債 計	364,022,420
		資 本 金	381,979,507
		剰 余 金	55,392,626
		資 本 剰 余 金	40,308,125
		利 益 剰 余 金	15,084,501
		資 本 計	437,372,133
合 計	801,394,553	合 計	801,394,553



## Ⅱ 令和3年度の決算状況

### 1. 事業の概況

千葉県上水道事業は、昭和11年に給水を開始して以来、お客様に安全でおいしい水を安定して供給することを最大の使命として、事業運営に努めてきたところです。

令和3年度は、『千葉県営水道事業中期経営計画』（計画期間：令和3年度～令和7年度）に基づき、基本理念「いつでも、安全でおいしい水を安定して供給し、お客様が安心し、信頼を寄せる水道」の実現に向けて、事業の推進を図りました。

#### (1) 工事の状況

令和3年度は、妙典給水場の遠隔監視制御設備の更新工事等を実施しました。

また、配水管整備事業において、一拓栗山～船高線（その1）送・配水管布設替工事等を実施しました。

#### (2) 給水及び業務の状況

令和3年度末における給水人口は306万4,635人、給水栓数は146万1,160栓であり、前年度末と比較すると、人口において0.1パーセント、栓数において1.1パーセントそれぞれ増加しました。

年間給水量は3億1,875万6,899立方メートル、年間有収水量は3億946万3,084立方メートルとなり、前年度末と比較すると、給水量において1.1パーセント、有収水量において0.9パーセントそれぞれ減少しました。また、一日平均給水量は87万3,307立方メートル、一日最大給水量は8月21日の96万390立方メートルでした。

### 給水及び業務の概要について

区 分	給水人口	給水栓数	年間給水量	年間有収水量	
令和3年度末	3,064,635 <sup>人</sup>	1,461,160 <sup>栓</sup>	318,756,899 <sup>m<sup>3</sup></sup>	309,463,084 <sup>m<sup>3</sup></sup>	
令和2年度末	3,062,104	1,445,122	322,267,497	312,275,012	
比 較	差引き	2,531	16,038	△3,510,598	△2,811,928
	増減率	0.1%	1.1%	△1.1%	△0.9%
				有収率 3年度 97.1% 2年度 96.9%	

2. 経理の状況

(1) 予算の執行状況（令和3年4月1日から令和4年3月31日まで）

ア 収益的収入及び支出

収 入

(単位：千円)

区 分	予 算 額			執 行 額	執 行 率
	現 年 度 分	繰 越 分	計		
水道事業収益	83,269,897		83,269,897	82,706,222	99.3 %
営業収益	69,452,284		69,452,284	68,803,535	99.1
営業外収益	13,439,791		13,439,791	13,504,779	100.5
特別利益	377,822		377,822	397,908	105.3

支 出

(単位：千円)

区 分	予 算 額			執 行 額	執 行 率
	現 年 度 分	繰 越 分	計		
水道事業費用	75,409,433	8,195	75,417,628	71,296,616	94.5 %
営業費用	72,356,396	8,195	72,364,591	68,369,382	94.5
営業外費用	2,878,011		2,878,011	2,872,015	99.8
特別損失	75,026		75,026	55,219	73.6
予備費	100,000		100,000		

イ 資本的収入及び支出

収 入

(単位：千円)

区 分	予 算 額			執 行 額	執 行 率
	現 年 度 分	繰 越 分	計		
資 本 的 収 入	25,781,835	118,337	25,900,172	16,750,047	64.7 %
企 業 債	22,000,000		22,000,000	13,500,000	61.4
国 庫 補 助 金	298,066	7,700	305,766	297,585	97.3
県 補 助 金	48,830		48,830	48,830	100
工 事 負 担 金	1,957,155	110,637	2,067,792	1,571,894	76.0
開 発 負 担 金	970,985		970,985	946,564	97.5
受 託 事 業 収 入	306,186		306,186	184,341	60.2
そ の 他 資 本 収 入	200,613		200,613	200,603	100.0
固 定 資 産 売 却 代 金				230	

支 出

(単位：千円)

区 分	予 算 額			執 行 額	執 行 率
	現 年 度 分	繰 越 分	計		
資 本 的 支 出	61,404,814	9,496,165	70,900,979	47,293,942	66.7 %
建 設 改 良 費	48,877,048	8,832,223	57,709,271	34,387,082	59.6
拡 張 工 事 費	179,251	663,942	843,193	558,349	66.2
企 業 債 償 還 金	12,048,367		12,048,367	12,048,367	100.0
年 賦 償 還 金	264,013		264,013	264,009	100.0
そ の 他 資 本 支 出	36,135		36,135	36,135	100.0

## (2) 損益計算書

(令和3年4月1日から令和4年3月31日まで)

(単位：千円)

費 用		収 益	
科 目	金 額	科 目	金 額
営 業 費 用	65,479,263	営 業 収 益	62,716,738
原水及び浄水費	19,398,515	給水収益	58,751,764
配水費	4,875,951	分水収益	707,838
給水費	3,864,880	受託工事収益	295,305
受託工事費	295,305	その他の営業収益	2,961,831
業務費	4,554,608	営業外収益	13,022,297
総係費	2,152,104	給水申込納付金	3,726,791
減価償却費	28,165,598	受取利息及び配当金	4,297
資産減耗費	2,167,091	他会計補助金	32
その他の営業費用	5,211	負担金	199
営業外費用	2,084,014	長期前受金戻入	7,584,981
支払利息及び企業債取扱諸費	2,046,191	雑収益	1,705,997
雑支出	37,823	特別利益	397,905
特別損失	54,618	固定資産売却益	976
過年度損益修正損	54,618	過年度損益修正益	385,571
		その他特別利益	11,358
当期純利益	8,519,045		
合 計	76,136,940	合 計	76,136,940

## (3) 貸借対照表

(令和4年3月31日現在)

(単位：千円)

資 産		負 債 及 び 資 本	
科 目	金 額	科 目	金 額
固 定 資 産	751,994,529	固 定 負 債	132,541,208
有 形 固 定 資 産	611,651,981	企 業 債	126,154,674
土 地	42,637,270	年 賦 未 払 金	1,447,774
償 却 資 産	1,124,554,690	リ ー ス 債 務	234,068
減 価 償 却 累 計 額	△601,943,985	引 当 金	4,693,778
建 設 仮 勘 定	46,404,006	そ の 他 固 定 負 債	10,914
無 形 固 定 資 産	137,907,193	流 動 負 債	36,515,522
投 資 そ の 他 の 資 産	2,435,355	企 業 債	12,406,178
流 動 資 産	59,596,500	リ ー ス 債 務	181,169
現 金 預 金	45,928,120	未 払 金	18,899,671
未 収 金	7,600,848	年 賦 未 払 金	241,819
未 収 金 貸 倒 引 当 金	△50,195	前 受 金	260,337
貯 蔵 品	243,857	引 当 金	536,882
前 払 金	5,873,870	そ の 他 流 動 負 債	3,989,466
		繰 延 収 益	211,727,622
		長 期 前 受 金	392,222,625
		長 期 前 受 金 収 益 化 累 計 額	△180,495,003
		負 債 計	380,784,352
		資 本 金	381,979,507
		剰 余 金	48,827,170
		資 本 剰 余 金	40,308,125
		利 益 剰 余 金	8,519,045
		資 本 計	430,806,677
合 計	811,591,029	合 計	811,591,029

## 2. 工業用水道事業会計

## I 令和4年度上期の事業概況

### 1. 事業の概況

本期における工業用水道事業は、給水事業及び水資源開発事業を前年度に引き続き実施しました。  
これらの概況は次のとおりです。

#### 給水事業

本期における給水事業は、東葛・葛南地区工業用水道事業ほか6事業を実施しました。  
なお、各地区の業務状況は次のとおりです。

(令和4年4月1日から令和4年9月30日まで)

区 分	給 水 企 業 数	本 期 給 水 量	一 日 平 均
東 葛 ・ 葛 南 地 区	105 社	10,571,765 m <sup>3</sup>	57,702 m <sup>3</sup>
千 葉 地 区	26	15,534,300	84,370
五 井 市 原 地 区	17	12,818,110	69,734
五 井 姉 崎 地 区	40	53,951,077	293,561
房 総 臨 海 地 区	72	17,010,621	92,527
木 更 津 南 部 地 区	18	32,096,414	175,353
北 総 地 区	6	10,753	58
合 計	284	141,993,040	773,305

## 2. 経理の状況

(1) 予算の執行状況（令和4年4月1日から令和4年9月30日まで）

ア 収益的収入及び支出

収 入

(単位：千円)

区 分	予 算 額			執 行 額	執行率 (%)
	現 年 度 分	繰 越 分	計		
東葛・葛南地区	2,217,946		2,217,946	1,093,069	49.3
千葉地区	1,281,682		1,281,682	642,304	50.1
五井市原地区	1,004,580		1,004,580	516,425	51.4
五井姉崎地区	3,007,948		3,007,948	1,514,238	50.3
房総臨海地区	4,227,068		4,227,068	2,105,474	49.8
木更津南部地区	2,023,925		2,023,925	1,013,722	50.1
北総地区	14,990		14,990	7,118	47.5
工業用水道事業関連収益	3,578		3,578	14,795	413.5
合 計	13,781,717		13,781,717	6,907,145	50.1

支 出

(単位：千円)

区 分	予 算 額			執 行 額	執行率 (%)
	現 年 度 分	繰 越 分	計		
東葛・葛南地区	1,876,056		1,876,056	696,197	37.1
千葉地区	772,731		772,731	394,395	51.0
五井市原地区	477,056		477,056	181,552	38.1
五井姉崎地区	1,106,942		1,106,942	552,156	49.9
房総臨海地区	2,806,628		2,806,628	1,367,197	48.7
木更津南部地区	1,768,505	35,774	1,804,279	695,109	38.5
北総地区	23,511		23,511	6,784	28.9
工業用水道事業関連費用	4,237,934	2,318	4,240,252	1,496,558	35.3
合 計	13,069,363	38,092	13,107,455	5,389,948	41.1



イ 資本的收入及び支出

収 入

(単位：千円)

区 分	予 算 額			執 行 額	執行率 (%)
	現 年 度 分	繰 越 分	計		
東 葛 ・ 葛 南 地 区	219,700	26,550	246,250	86,881	35.3
千 葉 地 区	7,895		7,895		
五 井 市 原 地 区	12,800		12,800		
五 井 姉 崎 地 区	13,300		13,300		
房 総 臨 海 地 区					
木 更 津 南 部 地 区	228,493		228,493	112,500	49.2
北 総 地 区					
工業用水道関連事業	3,008,410		3,008,410		
合 計	3,490,598	26,550	3,517,148	199,381	5.7

支 出

(単位：千円)

区 分	予 算 額			執 行 額	執行率 (%)
	現 年 度 分	繰 越 分	計		
東 葛 ・ 葛 南 地 区	3,021,160	171,518	3,192,678	259,969	8.1
千 葉 地 区	784,789	47,363	832,152	325,521	39.1
五 井 市 原 地 区	1,438,692	20,268	1,458,960	139,389	9.6
五 井 姉 崎 地 区	1,458,085	46,512	1,504,597	410,999	27.3
房 総 臨 海 地 区	1,237,389	20,491	1,257,880	5,091	0.4
木 更 津 南 部 地 区	2,779,520	410,265	3,189,785	957,821	30.0
北 総 地 区	8,197	16,335	24,532	10	0.0
工業用水道関連事業	89,872		89,872	2,755	3.1
合 計	10,817,704	732,752	11,550,456	2,101,555	18.2

## (2) 損益計算書

(令和4年4月1日から令和4年9月30日まで)

(単位：千円)

費 用		収 益	
科 目	金 額	科 目	金 額
営 業 費 用	5,079,185	営 業 収 益	5,268,656
東葛・葛南地区	676,871	東葛・葛南地区	812,998
千葉地区	331,698	千葉地区	554,494
五井市原地区	164,653	五井市原地区	417,265
五井姉崎地区	499,975	五井姉崎地区	1,281,240
房総臨海地区	1,365,134	房総臨海地区	1,391,681
木更津南部地区	647,864	木更津南部地区	806,572
北総地区	6,631	北総地区	4,406
工業用水道事業関連	1,386,359	営 業 外 収 益	1,077,395
営 業 外 費 用	151,805	東葛・葛南地区	198,730
東葛・葛南地区	4,149	千葉地区	32,360
千葉地区	62,078	五井市原地区	55,259
五井市原地区	16,848	五井姉崎地区	104,871
五井姉崎地区	52,094	房総臨海地区	548,064
木更津南部地区	16,636	木更津南部地区	122,324
当 期 純 利 益	1,115,061	北 総 地 区	2,272
		工業用水道事業関連	13,515
合 計	6,346,051	合 計	6,346,051

## (3) 貸借対照表

(令和4年9月30日現在)

(単位：千円)

資 産		負 債 及 び 資 本	
科 目	金 額	科 目	金 額
固 定 資 産	156,982,534	固 定 負 債	39,830,180
有 形 固 定 資 産	80,907,636	企 業 債	14,875,914
土 地	7,091,593	他 会 計 借 入 金	23,195,338
償 却 資 産	181,724,203	年 賦 未 払 金	1,011,577
減 価 償 却 累 計 額	△121,819,947	引 当 金	735,093
建 設 仮 勘 定	13,911,787	リ ー ス 債 務	9,530
無 形 固 定 資 産	76,047,679	そ の 他 固 定 負 債	2,728
投 資 そ の 他 の 資 産	27,219	流 動 負 債	3,222,608
流 動 資 産	37,446,723	企 業 債	991,624
現 金 及 び 預 金	35,331,699	他 会 計 借 入 金	850,000
未 収 金	999,009	年 賦 未 払 金	57,879
貯 蔵 品	67,020	未 払 金	750,849
そ の 他 流 動 資 産	1,048,995	リ ー ス 債 務	2,507
		そ の 他 流 動 負 債	569,749
		繰 延 収 益	36,561,532
		長 期 前 受 金	89,537,295
		長 期 前 受 金 収 益 化 累 計 額	△52,975,763
		負 債 計	79,614,320
		資 本 金	99,590,248
		剰 余 金	15,224,689
		資 本 剰 余 金	10,139,145
		利 益 剰 余 金	5,085,544
		資 本 計	114,814,937
合 計	194,429,257	合 計	194,429,257

## Ⅱ 令和3年度の決算状況

### 1. 事業の概況

令和3年度における工業用水道事業は、給水事業及び水資源開発事業を前年度に引き続き実施しました。

#### 給水事業

令和3年度における給水事業は、東葛・葛南地区工業用水道事業ほか6事業を実施しました。  
なお、各地区の業務状況は次のとおりです。

(令和3年4月1日から令和4年3月31日まで)

区 分	給 水 企 業 数	本 期 給 水 量	一 日 平 均
東 葛 ・ 葛 南 地 区	106 <sup>社</sup>	20,687,664 <sup>m<sup>3</sup></sup>	56,678 <sup>m<sup>3</sup></sup>
千 葉 地 区	25	30,860,131	84,537
五 井 市 原 地 区	17	25,385,799	69,536
五 井 姉 崎 地 区	40	105,070,105	287,670
房 総 臨 海 地 区	72	33,223,072	90,957
木 更 津 南 部 地 区	18	65,155,762	177,552
北 総 地 区	6	21,493	59
合 計	284	280,404,026	766,989

2. 経理の状況

(1) 予算の執行状況（令和3年4月1日から令和4年3月31日まで）

ア 収益的収入及び支出

収 入

(単位：千円)

区 分	予 算 額			執 行 額	執行率 (%)
	現 年 度 分	繰 越 分	計		
東葛・葛南地区	2,303,054		2,303,054	2,263,264	98.3
千葉地区	1,286,368		1,286,368	1,286,156	100.0
五井市原地区	1,004,444		1,004,444	1,004,532	100.0
五井姉崎地区	3,026,813		3,026,813	3,026,068	100.0
房総臨海地区	4,238,127		4,238,127	4,222,815	99.6
木更津南部地区	2,011,460		2,011,460	1,996,804	99.3
北総地区	15,942		15,942	15,942	100
工業用水道事業関連収益	27,722		27,722	28,792	103.9
合 計	13,913,930		13,913,930	13,844,373	99.5

支 出

(単位：千円)

区 分	予 算 額			執 行 額	執行率 (%)
	現 年 度 分	繰 越 分	計		
東葛・葛南地区	1,925,678		1,925,678	1,703,467	88.5
千葉地区	787,571		787,571	781,495	99.2
五井市原地区	432,261		432,261	412,792	95.5
五井姉崎地区	1,112,615		1,112,615	1,106,236	99.4
房総臨海地区	2,834,067		2,834,067	2,797,889	98.7
木更津南部地区	1,661,820		1,661,820	1,502,190	90.4
北総地区	19,030		19,030	15,965	83.9
工業用水道事業関連費用	4,150,164		4,150,164	3,692,008	89.0
合 計	12,923,206		12,923,206	12,012,042	92.9

イ 資本的收入及び支出

収 入

(単位：千円)

区 分	予 算 額			執 行 額	執行率 (%)
	現 年 度 分	繰 越 分	計		
東葛・葛南地区	320,555	80,200	400,755	130,257	32.5
千葉地区	600	600	1,200	600	50.0
五井市原地区	300	330	630	300	47.6
五井姉崎地区	222,805	2,000	224,805	169,205	75.3
房総臨海地区	75,886		75,886	75,887	100.0
木更津南部地区	630,945	45,000	675,945	380,046	56.2
北総地区	861	900	1,761	861	48.9
工業用水道関連事業	3,002,999		3,002,999	3,003,000	100.0
合 計	4,254,951	129,030	4,383,981	3,760,156	85.8

支 出

(単位：千円)

区 分	予 算 額			執 行 額	執行率 (%)
	現 年 度 分	繰 越 分	計		
東葛・葛南地区	998,085	381,807	1,379,892	935,474	67.8
千葉地区	730,322	5,786	736,108	666,066	90.5
五井市原地区	424,195	28,260	452,455	411,644	91.0
五井姉崎地区	2,035,693	285,417	2,321,110	2,185,444	94.2
房総臨海地区	1,397,788	40,060	1,437,848	1,395,839	97.1
木更津南部地区	2,563,316	335,320	2,898,636	2,197,074	75.8
北総地区	113,773	4,280	118,053	77,386	65.6
工業用水道関連事業	18,747		18,747	18,525	98.8
合 計	8,281,919	1,080,930	9,362,849	7,887,452	84.2

## (2) 損益計算書

(令和3年4月1日から令和4年3月31日まで)

(単位：千円)

費用		収益	
科目	金額	科目	金額
営業費用	10,919,838	営業収益	10,505,031
東葛・葛南地区	1,630,802	東葛・葛南地区	1,618,886
千葉地区	643,646	千葉地区	1,105,974
五井市原地区	371,234	五井市原地区	832,597
五井姉崎地区	991,506	五井姉崎地区	2,549,029
房総臨海地区	2,772,408	房総臨海地区	2,781,130
木更津南部地区	1,391,667	木更津南部地区	1,608,628
北総地区	15,526	北総地区	8,787
工業用水道事業関連	3,103,049	営業外収益	2,218,173
営業外費用	334,559	東葛・葛南地区	479,546
東葛・葛南地区	11,121	千葉地区	69,586
千葉地区	132,892	五井市原地区	86,478
五井市原地区	36,702	五井姉崎地区	222,028
五井姉崎地区	114,481	房総臨海地区	1,105,200
房総臨海地区	340	木更津南部地区	221,544
木更津南部地区	39,021	北総地区	6,276
工業用水道事業関連	2	工業用水道事業関連	27,515
特別損失	18,356	特別利益	7,715
東葛・葛南地区	3,544	東葛・葛南地区	2,855
五井市原地区	181	五井市原地区	24
五井姉崎地区	248	五井姉崎地区	111
房総臨海地区	13,673	房総臨海地区	4,496
木更津南部地区	710	木更津南部地区	229
当期純利益	1,458,166		
合計	12,730,919	合計	12,730,919

## (3) 貸借対照表

(令和4年3月31日現在)

(単位：千円)

資 産		負 債 及 び 資 本	
科 目	金 額	科 目	金 額
固 定 資 産	158,967,001	固 定 負 債	39,830,180
有 形 固 定 資 産	81,589,091	企 業 債	14,875,914
土 地	7,091,593	他 会 計 借 入 金	23,195,338
償 却 資 産	181,676,073	年 賦 未 払 金	1,011,577
減 価 償 却 累 計 額	△120,136,216	引 当 金	735,093
建 設 仮 勘 定	12,957,641	リ ー ス 債 務	9,530
無 形 固 定 資 産	77,350,691	そ の 他 固 定 負 債	2,728
投 資 そ の 他 の 資 産	27,219	流 動 負 債	4,628,688
流 動 資 産	36,215,234	企 業 債	1,981,968
現 金 及 び 預 金	34,419,725	他 会 計 借 入 金	850,000
未 収 金	1,501,563	年 賦 未 払 金	109,512
貯 蔵 品	67,020	未 払 金	1,596,334
そ の 他 流 動 資 産	226,926	引 当 金	77,132
		リ ー ス 債 務	5,015
		そ の 他 流 動 負 債	8,727
		繰 延 収 益	37,023,492
		長 期 前 受 金	89,289,784
		長 期 前 受 金 収 益 化 累 計 額	△52,266,292
		負 債 計	81,482,360
		資 本 金	99,590,248
		剰 余 金	14,109,627
		資 本 剰 余 金	10,139,145
		利 益 剰 余 金	3,970,482
		資 本 計	113,699,875
合 計	195,182,235	合 計	195,182,235



### 3. 造成土地管理事業會計

## I 令和4年度上期の事業概況

### 1. 事業の概況

造成土地管理事業では、土地及び施設の譲渡、貸付け及び管理等を行っています。なお、本期末における土地処分状況は次のとおりです。

## 土地処分状況

(令和4年4月1日から令和4年9月30日まで)

(単位：千㎡)

区分 事業名	可処分面積	本期の処分面積	本期末までの 処分面積	処 分 率 (%)
1. 臨海地域土地造成整備事業	74,916		74,493	99.4
京        葉        港	5,808		5,726	98.6
塩        浜	55		49	89.1
富        津	4,499		4,164	92.6
土地処分完了地区	64,554		64,554	100
2. 新市街地造成整備事業	24,113		22,694	94.1
千葉北部地区	12,280	1	11,922	97.1
幕        張        A	2,310		1,730	74.9
幕        張        C	1,280		937	73.2
成        田	2,936		2,930	99.8
検        見        川	2,608		2,522	96.7
東葛飾北部流山	55		35	63.6
東葛飾北部柏	102		76	74.5
土地処分完了地区	2,542		2,542	100
3. 内陸工業用地造成整備事業	4,504		4,457	99.0
ひ        か        り	204		195	95.6
関        宿        は        や        ま	199		167	83.9
空        港        南        部	240		234	97.5
土地処分完了地区	3,861		3,861	100
4. レクリエーション用地造成整備事業	1,264		1,264	100
土地処分完了地区	1,264		1,264	100
5. 小規模住宅用地造成整備事業	213		213	100
土地処分完了地区	213		213	100
6. 物流用地造成整備事業	180		180	100
土地処分完了地区	180		180	100
合        計	105,190	1	103,301	98.2

※中止地区を除く

2. 経理の状況

(1) 予算の執行状況（令和4年4月1日から令和4年9月30日まで）

ア 収益的収入及び支出

収 入

(単位：千円)

区 分	予 算 額			執 行 額	執行率 (%)
	現 年 度 分	繰 越 分	計		
1. 土地分譲事業収益	13,766,903		13,766,903	5,605,331	40.7
営業収益	11,907,538		11,907,538	4,337,075	36.4
営業外収益	1,425,095		1,425,095	1,227,144	86.1
特別利益	434,270		434,270	41,113	9.5
2. 土地貸付事業収益	2,400,558		2,400,558	1,917,248	79.9
営業収益	2,400,558		2,400,558	1,917,246	79.9
営業外収益				2	
合 計	16,167,461		16,167,461	7,522,579	46.5

支 出

(単位：千円)

区 分	予 算 額			執 行 額	執行率 (%)
	現 年 度 分	繰 越 分	計		
1. 土地分譲事業費用	14,267,960		14,267,960	3,243,524	22.7
営業費用	14,107,484		14,107,484	3,101,337	22.0
営業外費用	160,476		160,476	142,187	88.6
2. 土地貸付事業費用	540,962		540,962	501,989	92.8
営業費用	540,962		540,962	501,989	92.8
3. 予 備 費	50,000		50,000		
合 計	14,858,922		14,858,922	3,745,513	25.2

イ 資本的收入及び支出

収 入

(単位：千円)

区 分	予 算 額			執 行 額	執行率 (%)
	現 年 度 分	繰 越 分	計		
資 本 的 収 入	973,894		973,894	105,000	10.8
貸 付 金 収 入	955,000		955,000	105,000	11.0
関 連 収 入	18,894		18,894		

支 出

(単位：千円)

区 分	予 算 額			執 行 額	執行率 (%)
	現 年 度 分	繰 越 分	計		
資 本 的 支 出	4,122,865		4,122,865	500,946	12.2
固 定 資 産 取 得 費	42,492		42,492	1,861	4.4
投 資	3,000,000		3,000,000		
建 設 改 良 費	1,080,373		1,080,373	499,085	46.2

(2) 損益計算書

(令和4年4月1日から令和4年9月30日まで)

(単位：千円)

費 用		収 益	
科 目	金 額	科 目	金 額
営 業 費 用	3,593,031	営 業 収 益	6,251,186
土 地 分 譲 原 価	1,166,383	土 地 分 譲 収 益	4,298,282
一 般 管 理 費	1,867,821	土 地 貸 付 収 益	1,917,246
減 価 償 却 費	56,837	そ の 他 営 業 収 益	35,658
そ の 他 営 業 費 用	501,989	営 業 外 収 益	1,224,722
営 業 外 費 用	142,187	受 取 利 息 及 び 配 当 金	237,073
雑 支 出	142,187	雑 収 益	987,649
当 期 純 利 益	3,781,803	特 別 利 益	41,113
		そ の 他 特 別 利 益	41,113
合 計	7,517,020	合 計	7,517,020

## (3) 貸借対照表

(令和4年9月30日現在)

(単位：千円)

資 産		負 債 及 び 資 本	
科 目	金 額	科 目	金 額
固 定 資 産	168,965,761	固 定 負 債	4,434,373
有 形 固 定 資 産	104,401,965	繰 延 割 賦 売 却 益	1,048,438
無 形 固 定 資 産	471	リ ー ス 債 務	6,839
投 資 そ の 他 の 資 産	64,563,325	引 当 金	853,768
完 成 資 産	51,730,981	そ の 他 固 定 負 債	2,525,329
土 地 分 譲 事 業 完 成 資 産	51,730,981	流 動 負 債	2,628,323
流 動 資 産	97,710,686	リ ー ス 債 務	1,861
現 金 及 び 預 金	96,685,112	未 払 金	186,333
未 収 金	955,551	前 受 金	67,644
未 収 金 貸 倒 引 当 金	△24	そ の 他 流 動 負 債	2,372,484
そ の 他 流 動 資 産	70,046	繰 延 収 益	9
		長 期 前 受 金	9
		負 債 計	7,062,705
		資 本 金	221,221,875
		自 己 資 本 金	221,221,875
		剰 余 金	90,122,849
		利 益 剰 余 金	90,122,849
		資 本 計	311,344,723
合 計	318,407,428	合 計	318,407,428

## Ⅱ 令和3年度の決算状況

### 1. 事業の概況

造成土地管理事業では、土地及び施設の譲渡、貸付け及び管理等を行っています。なお、本年度末における土地処分状況は次のとおりです。



## 土地処分状況

(令和3年4月1日から令和4年3月31日まで)

(単位：千㎡)

区分 事業名	可処分面積	本期の処分面積	本期末までの 処分面積	処 分 率 (%)
1. 臨海地域土地造成整備事業	74,916	13	74,493	99.4
京    葉    港	5,808		5,726	98.6
長    浦	4,986	7	4,986	100
塩    浜	55		49	89.1
富    津	4,499	6	4,164	92.6
土地処分完了地区	59,568		59,568	100
2. 新市街地造成整備事業	24,113	24	22,693	94.1
千 葉 北 部 地 区	12,280	8	11,921	97.1
幕    張    A	2,310	13	1,730	74.3
幕    張    C	1,280		937	73.2
成          田	2,936		2,930	99.8
検    見    川	2,608	3	2,522	96.7
東 葛 飾 北 部 流 山	55		35	63.6
東 葛 飾 北 部 柏	102		76	74.5
土地処分完了地区	2,542		2,542	100
3. 内陸工業用地造成整備事業	4,504		4,457	99.0
ひ    か    り	204		195	95.6
関 宿 は や ま	199		167	83.9
空 港 南 部	240		234	97.5
土地処分完了地区	3,861		3,861	100
4. レクリエーション用地造成整備事業	1,264		1,264	100
土地処分完了地区	1,264		1,264	100
5. 小規模住宅用地造成整備事業	213		213	100
土地処分完了地区	213		213	100
6. 物流用地造成整備事業	180		180	100
土地処分完了地区	180		180	100
合    計	105,190	37	103,300	98.2

※中止地区を除く

2. 経理の状況

(1) 予算の執行状況（令和3年4月1日から令和4年3月31日まで）

ア 収益的収入及び支出

収 入

(単位：千円)

区 分	予 算 額			執 行 額	執行率 (%)
	現 年 度 分	繰 越 分	計		
1. 土地分譲事業収益	11,242,716		11,242,716	9,967,750	88.7
営業収益	9,787,031		9,787,031	8,501,976	86.9
営業外収益	1,390,132		1,390,132	1,400,286	100.7
特別利益	65,553		65,553	65,488	99.9
2. 土地貸付事業収益	2,430,776		2,430,776	2,438,301	100.3
営業収益	2,430,775		2,430,775	2,433,110	100.1
営業外収益	1		1	5,191	519089.5
合 計	13,673,492		13,673,492	12,406,051	90.7

支 出

(単位：千円)

区 分	予 算 額			執 行 額	執行率 (%)
	現 年 度 分	繰 越 分	計		
1. 土地分譲事業費用	9,677,389		9,677,389	9,096,712	94.0
営業費用	9,521,545		9,521,545	8,952,728	94.0
営業外費用	155,604		155,604	143,811	92.4
特別損失	240		240	173	72.1
2. 土地貸付事業費用	534,387		534,387	534,315	100.0
営業費用	531,350		531,350	531,278	100.0
特別損失	3,037		3,037	3,037	100.0
3. 予 備 費	50,000		50,000		
合 計	10,261,776		10,261,776	9,631,027	93.9

イ 資本的收入及び支出

収 入

(単位：千円)

区 分	予 算 額			執 行 額	執行率 (%)
	現 年 度 分	繰 越 分	計		
資 本 的 収 入	985,567		985,567	985,505	100.0
貸 付 金 収 入	902,500		902,500	902,500	100
固 定 資 産 売 却 収 入	76,328		76,328	76,265	99.9
関 連 収 入	6,739		6,739	6,740	100.0

支 出

(単位：千円)

区 分	予 算 額			執 行 額	執行率 (%)
	現 年 度 分	繰 越 分	計		
資 本 的 支 出	4,248,366		4,248,366	4,248,346	100.0
固 定 資 産 取 得 費	55,149		55,149	55,147	100.0
投 資	3,000,000		3,000,000	3,000,000	100
建 設 改 良 費	1,193,217		1,193,217	1,193,199	100.0

## (2) 損益計算書

(令和3年4月1日から令和4年3月31日まで)

(単位：千円)

費 用		収 益	
科 目	金 額	科 目	金 額
営 業 費 用	9,399,056	営 業 収 益	10,923,511
土 地 分 譲 原 価	3,788,389	土 地 分 譲 収 益	8,370,934
一 般 管 理 費	4,430,522	土 地 貸 付 収 益	2,433,110
減 価 償 却 費	214,698	そ の 他 営 業 収 益	119,467
資 産 減 耗 費	434,168	営 業 外 収 益	1,403,208
そ の 他 営 業 費 用	531,278	受 取 利 息 及 び 配 当 金	408,375
営 業 外 費 用	214,304	雑 収 益	994,833
雑 支 出	214,304	特 別 利 益	65,488
特 別 損 失	3,210	固 定 資 産 売 却 益	33,104
過 年 度 損 益 修 正 損	173	過 年 度 損 益 修 正 益	20,079
そ の 他 特 別 損 失	3,037	そ の 他 特 別 利 益	12,306
当 期 純 利 益	2,775,637		
合 計	12,392,207	合 計	12,392,207

## (3) 貸借対照表

(令和4年3月31日現在)

(単位：千円)

資 産		負 債 及 び 資 本	
科 目	金 額	科 目	金 額
固 定 資 産	483,354,952	固 定 負 債	5,458,200
有 形 固 定 資 産	104,545,941	繰 延 割 賦 売 却 益	2,072,265
無 形 固 定 資 産	471	リ ー ス 債 務	6,839
投 資 そ の 他 の 資 産	378,808,541	引 当 金	853,768
完 成 資 産	52,350,749	そ の 他 固 定 負 債	2,525,329
土 地 分 譲 事 業 完 成 資 産	52,350,749	流 動 負 債	4,452,631
流 動 資 産	94,466,638	リ ー ス 債 務	3,722
現 金 及 び 預 金	94,295,370	未 払 金	1,541,493
未 収 金	163,142	引 当 金	77,016
未 収 金 貸 倒 引 当 金	△24	そ の 他 流 動 負 債	2,830,399
そ の 他 流 動 資 産	8,150	繰 延 収 益	9
		長 期 前 受 金	9
		負 債 計	9,910,840
		資 本 金	221,221,875
		自 己 資 本 金	221,221,875
		剰 余 金	86,341,046
		利 益 剰 余 金	86,341,046
		評 価 差 額	312,698,579
		そ の 他 有 価 証 券 評 価 差 額	312,698,579
		資 本 計	620,261,499
合 計	630,172,339	合 計	630,172,339

## 4. 病 院 事 業 会 計

# I 令和4年度上期の事業概況

## 1. 事業の概況

本事業は、県民の健康保持に必要な医療を提供するため、高度・特殊な専門医療を取り扱う4病院（がんセンター・救急医療センター・精神科医療センター・こども病院）、循環器に関する高度・特殊な専門医療と地域における中核医療を行う循環器病センター及び地域の中核医療を行う佐原病院の県立6病院を設置・運営しているところです。

また、令和3年度に策定した「千葉県立病院改革プラン」に基づいて、現在、経営改善に取り組んでいるところです。

新型コロナウイルス感染症への対応については、重症病床を含む専用病床を確保して患者を受け入れるとともに、発熱外来等の専用外来において感染症の疑いのある患者の診療や相談を行いました。さらに、がんセンター旧病棟に県が開設した臨時医療施設の運営を受託し、患者を受け入れたほか、高齢者福祉施設等に職員を派遣し、感染防止対策の助言・指導を実施しました。

なお、各病院の事業概況は次のとおりです。

### (1) がんセンター

千葉県におけるがん対策の中心的役割を担っている当センターでは、「私たちは、心と体にやさしく希望の持てるがん医療を提供します」を基本理念に掲げ、がん治療のために県内全域から訪れる多くの県民に、質の高いがん医療を効率的に提供しています。

当センターは、都道府県がん診療連携拠点病院の指定を受けており、県内のがん診療連携拠点病院等に対する研修会の開催やがん診療連携協議会での情報共有等を行い、県内がん医療の均てん化に貢献しています。

また、がんゲノム医療拠点病院の指定も受けており、県内のがんゲノム医療連携病院とともに、遺伝子パネル検査を用い、推奨治療について検討を行う専門家会議（エキスパートパネル）を毎週開催して、がんゲノム医療の推進に努めました。

さらに、小児がん連携病院（類型2：特定のがん種等についての診療を行う連携病院）の指定も受けていることから、地域に質の高い小児がん医療及び支援を提供しました。

患者総合支援センターでは、ワンストップによる患者支援を実現させるため、入退院支援、在宅療養支援、各種検査・手術説明、服薬指導を実施するとともに、がん患者から生活や就労に関する相談を受け、必要な支援に結びました。さらに、地域医療機関への訪問活動等を通じ、連携強化に努めました。

9月には、県民公開セミナーを開催し「開院50周年 千葉県がんセンターの最新の治療～次の半世紀への第一歩～」をテーマに、最新がん治療などについての講演を行いました。

また、当センター、千葉県及び公益財団法人ちば県民保健予防財団の主催により、千葉市内において、がん予防展を開催し、広く県民にがんの予防等に関する最新の情報を提供するとともに、各種がん相談を実施しました。

### (2) 救急医療センター

千葉県全域を対象とする第三次救急医療施設として、24時間体制で重症の心疾患、脳卒中、多発外傷等の患者に対して救急救命治療や、高度専門的治療を行うとともに、高度救命救急センターとして広範囲熱傷、指肢切断、急性中毒等の特殊救急患者の治療を行いました。

地域災害拠点病院としては、災害医療に対応できるよう災害派遣医療チーム（DMAT）を養成し、現在3隊の編成が可能となっています。

また、新医師臨床研修をはじめとして、大学の薬学部、作業療法学科、消防局、救急救命士養成学校等、種々の学生実習や救急救命士の研修・実習を受け入れ、医療従事者の育成に努めました。

さらに、精神科医療センターとの一体的整備に向け、院内の各部門や同センター等の関係機関との協議を重ねています。

### (3) 精神科医療センター

千葉県精神科救急医療システムの中核的医療施設として、急性期患者を24時間体制で受け入れ、短期集中治療による早期社会復帰を目指すとともに、デイホスピタルやアウトリーチ（訪問看護）を実施し、患者の在宅生活と社会復帰を多職種で支援しました。

当院内に設置された精神科救急情報センターでは、精神保健福祉相談員と当直医が県下で発生する精神科救急ケースの受診相談と受診先の調整、医療情報の提供等を行っています。

また、「心神喪失等の状態で重大な他害行為を行った者の医療及び観察等に関する法律（医療観察法）」に基づく鑑定入院を実施するとともに、指定通院医療機関として関係機関と連携して対象者の外来診療に努めています。

さらに、国が推進する災害派遣精神医療チーム（DPAT）事業の活動に積極的に参画し、広域災害に際して迅速に対応する先遣隊としての訓練を行っています。

救急医療センターとの一体的整備に向けては、引き続き院内の意見を集約し、同センター等と建築及び運用面について協議を進めています。

### (4) こども病院

県内の小児医療の拠点として、一般の医療機関では対応が困難な難病や重症の患者、先天性心疾患をはじめとした重篤な外科的疾患の患者に対して、「児童の権利に関する条約」の基本理念のもとに、高度専門的な医療、総合的な医療を提供しています。

地域の方へ安全安心の医療を提供することを目的に、公益財団法人日本医療機能評価機構による第3者評価（病院機能評価）を小児専門医療機関としてはもっとも早い時期である平成14年に初回の機能評価を受けて以来、5年おきに審査を受けてきました。4度目の更新のため本年6月に受審し、9月に受審結果「認定病院」を受けました。

また、いかなる状況においても、こども病院の機能を可能な限り発揮して課された役割をはたすため、診療科の枠組みにとらわれない柔軟で効率的な病床管理を集中化して行うことを目的とした、病床管理室を今年度より設置して、緊急時にも対応できるよう病床運用を行いました。

さらに、こども・家族支援センターで行っている早期入退院支援については、入院が決定した時点から介入を行い、退院支援チェックシートを活用し、多職種とともに退院支援・在宅支援を推進しました。

地域連携については、地域の医療機関や訪問看護ステーション、学校等と連携し、在宅療養環境を調整したり、小児臨床症例研究会の開催、小児等在宅医療連携拠点事業として千葉県看護協会や医療的ケア児支援センターの企画する研修会に講師として参加し小児医療に関する情報の提供・発信を行いました。

児童虐待防止については、児童虐待防止医療ネットワーク事業として、児童虐待の早期発見や深刻化の未然防止にむけた取り組みを行い、成人移行支援については、トランジション外来の運営や、千葉県移行期医療支援センターと連携して事例検討等、成人移行支援を推進しました。



加えて、医療安全対策においては、リスクマネージャーを中心に全職員で取り組んだ患者誤認対策について報告会を実施し、医療安全確保に向けた改革をさらに進める等、安全・安心で質の高い医療の提供のための取組を推進しました。

経営面では、今年度から特定集中治療室（ICU）を医師の配置基準が満たされたため、小児特定集中治療室（PICU）へ変更申請し増点しました。さらに令和4年度診療報酬改定の新たな施設基準の加算を取得、診療群分類包括評価係数（DPC係数※）の増点に努め収益の増加を図りました。

設備面では、施設の長寿命化及び病院機能の充実に向け、費用対効果を考慮して優先順位をつけ、計画的な施設改修を行いました。

※Diagnosis Procedure Combination:診断群分類

#### (5) 循環器病センター

当センターは、循環器系疾患に関する高度専門的医療として、急性心筋梗塞、狭心症に対する経皮的冠動脈形成術、心房細動などに対するカテーテルアブレーション治療、大動脈ステント治療、ガンマナイフ治療などを行うとともに、内科や外科等の地域医療・救急医療を行い、地域における24時間365日の救急基幹センターとしての役割を担っています。

また、当センターでは、院内の多職種で構成する「てんかんセンター」を設置し、内科治療や「難治性てんかん」に対する外科治療、社会復帰支援など包括的なてんかん医療に取り組んでいます。

本年度は昨年度に引き続き、てんかんの専門医療・専門相談を行うことのできる体制や診療ネットワークを整備することを目的とした、「てんかん支援拠点病院」の指定を県から受けており、6月には県内の医療機関や学校関係向けの研修会を行いました。

災害拠点病院としては、災害医療に対応できるよう災害派遣医療チーム（DMAT）を編成し、自然災害はもとより、人的災害等の緊急時に出勤できる体制整備に努めています。

経営面では、診療報酬の算定実績やDPC分析を行うとともに、診療報酬の算定件数の増加、新たな施設基準の獲得に向けた検討を行い、収益の増加に努めています。

設備面では、開院から20年を経過している当センターの、施設の長寿命化及び病院機能の充実にに向けた施設改修に取り組むとともに、医療機器については、院内の各部署との協議を重ね、効果的かつ計画的な医療機器の更新を行っています。

#### (6) 佐原病院

当院は、高齢化が進んでいる香取地域において急性期医療を支える中核病院として、高齢者に多い肺炎、呼吸不全、消化器系疾患、脱水症、大腿骨骨折などへの対応のほか、罹患率の高い消化器がんなどの疾患に対応した医療の提供を行うとともに、人間ドックや健康診断などの予防医療にも取り組んでいます。

当院の特長として、障害のある方及び児童への歯科治療や、整形外科において手の外科、肩・肘関節、スポーツ整形の専門外来を行うほか、肝臓専門外来、地域包括ケア外来では、千葉大学医学部附属病院と連携し、各専門領域の外来診療を行っています。

また、救急基幹センターとして引き続き24時間365日の救急外来を担うほか、災害時の医療救護活動の拠点となる災害拠点病院として重要な役割を担うとともに、DMATを編成するなど、緊急時に出勤できる体制整備に努めています。

さらに、24時間患者対応が可能である訪問看護ステーションでは、地域の住民が必要な医療や介護を受けながら自宅や施設で暮らし続けることができるようサポートしています。

加えて、香取郡市医師会より当院が運営を受託している、「かとり地域在宅医療支援センター」では、患者・家族、医療・介護関係者や地域包括支援センターなどからの在宅医療に関する相談に対応するとともに、医療と介護関係者の連絡調整や、患者・家族の要望を踏まえた医療機関・介護事業者相互の紹介など、地域の医療機関や介護関係者などと連携を図りながら必要な支援を行っています。

なお、令和3年4月1日に在宅療養支援病院の認定を受け、住み慣れた地域で安心して療養生活が送れるよう訪問診療・訪問看護と連携をとり、緊急時には在宅療養を行っている患者が直ちに入院できるような体制を整備することによって、急性期医療だけではなく、在宅療養を担う地域の中核病院としての役割を果たしています。

(7) 患者数の状況 (令和4年4月1日から令和4年9月30日まで)

施設名	区分	入院(人)	外来(人)	手術(件)	相談(外来・電話) (件)
がんセンター	延べ人数	50,601	72,934	2,711	
	一日平均	277	593	14.8	
救急医療センター	延べ人数	14,957	4,676	1,144	
				160	
	一日平均	82	26	6.3	
				0.9	
精神科医療センター	延べ人数	8,228	13,509		18,577
	一日平均	45	105		101.5
こども病院	延べ人数	21,311	41,878	729	
	一日平均	117	341	5.9	
循環器病センター	延べ人数	21,515	38,964	166	
				122	
	一日平均	118	317	0.9	
				0.6	
佐原病院	延べ人数	17,754	42,027	475	
	一日平均	97	342	2.6	
計	延べ人数	134,366	213,988	5,225	18,577
				282	
	一日平均	736	1,724	30.5	101.5
				1.5	

※手術欄の2段書きの下段は、経皮経管的冠状動脈形成術(P T C A)等で別掲

(注) 入院の1日平均患者数は、上期の日数により計算し、外来の1日平均患者数は、休日を除く診療日数により計算した。

2. 経理の状況

(1) 予算の執行状況（令和4年4月1日から令和4年9月30日まで）

ア 収益的収入及び支出

収 入

(単位：千円)

区 分	予 算 額	執 行 額	執 行 率
病 院 事 業 収 益	53,699,883	32,500,043	60.5 %
医 業 収 益	36,963,627	17,345,792	46.9
医 業 外 収 益	16,736,256	15,154,234	90.5
特 別 利 益		17	

支 出

(単位：千円)

区 分	予 算 額	執 行 額	執 行 率
病 院 事 業 費 用	56,879,332	26,360,965	46.3 %
医 業 費 用	55,796,302	25,906,166	46.4
医 業 外 費 用	1,083,030	454,799	42.0

イ 資本的收入及び支出

収 入

(単位：千円)

区 分	予 算 額			執 行 額	執 行 率
	現年度分	繰 越 分	計		
資 本 的 収 入	7,545,919		7,545,919	1,588,090	21.0 %
企 業 債	5,609,000		5,609,000		
国 庫 補 助 金	9,700		9,700	4,840	49.9
他 会 計 負 担 金	1,927,219		1,927,219	1,583,250	82.2

支 出

(単位：千円)

区 分	予 算 額			執 行 額	執 行 率
	現年度分	繰 越 分	計		
資 本 的 支 出	8,833,680	87,136	8,920,816	1,017,085	11.4 %
建 設 改 良 費	6,167,526	87,136	6,254,662	319,713	5.1
企 業 債 償 還 金	2,666,154		2,666,154	697,372	26.2

## (2) 損益計算書

(令和4年4月1日から令和4年9月30日まで)

(単位：千円)

費用		収益	
科目	金額	科目	金額
医業費用	24,867,619	医業収益	17,317,290
給与費	12,461,284	入院収益	10,798,743
材料費	6,734,528	外来収益	6,273,127
経費	3,533,462	その他医業収益	245,420
減価償却費	1,880,993	医業外収益	15,114,051
資産減耗費	3,801	国庫補助金	970,014
研究研修費	45,104	負担金交付金	13,687,224
長期前払消費税勘定償却	208,447	患者外給食収益	9,372
医業外費用	446,635	研究受託収益	358,009
支払利息及び企業債取扱諸費	119,200	その他医業外収益	89,432
患者外給食材料費	7,795	特別利益	16
受託研究費	80,025	過年度損益修正益	16
雑損失	239,615		
当期純利益	7,117,103		
合計	32,431,357	合計	32,431,357

## (3) 貸借対照表

(令和4年9月30日現在)

(単位：千円)

資 産		負 債 及 び 資 本	
科 目	金 額	科 目	金 額
固 定 資 産	61,594,545	固 定 負 債	57,720,851
有 形 固 定 資 産	57,418,700	企 業 債	47,856,524
土 地	6,755,272	他 会 計 借 入 金	3,700,000
償 却 資 産	102,830,905	引 当 金	6,164,327
減 価 償 却 累 計 額	△55,570,287	流 動 負 債	7,509,630
建 設 仮 勘 定	3,369,001	企 業 債	1,968,776
そ の 他 有 形 固 定 資 産	33,809	未 払 金	3,777,097
無 形 固 定 資 産	1,258,839	引 当 金	1,569,565
投 資 そ の 他 の 資 産	2,917,006	そ の 他 流 動 負 債	194,192
流 動 資 産	17,973,297	繰 延 収 益	6,389,703
現 金 預 金	7,894,753	長 期 前 受 金	30,280,961
未 収 金	6,498,237	長 期 前 受 金 収 益 化 累 計 額	△23,891,258
未 収 金 貸 倒 引 当 金	△37,497	負 債 計	71,620,184
貯 蔵 品	832,583	資 本 金	12,616,892
前 払 費 用	55,519	自 己 資 本 金	12,616,892
前 払 金	1,570,185	剰 余 金	△4,669,234
そ の 他 流 動 資 産	1,159,517	資 本 剰 余 金	14,901,027
		利 益 剰 余 金	△19,570,261
		当 年 度 未 処 理 欠 損 金	△19,570,261
		資 本 計	7,947,658
合 計	79,567,842	合 計	79,567,842

## Ⅱ 令和3年度の決算状況

### 1. 事業の概況

本事業は、県民の健康保持に必要な医療を提供するため、高度・特殊な専門医療を取り扱う4病院（がんセンター・救急医療センター・精神科医療センター・こども病院）、循環器に関する高度・特殊な専門医療と地域における中核医療を行う循環器病センター及び香取地域の中核医療を行う佐原病院の県立6病院を設置・運営しているところです。

「千葉県立病院新改革プラン（平成29年度から令和2年度）」に基づいて取り組んできたところですが、この計画が令和2年度をもって終了したことから、令和3年度から令和6年度を計画期間とする「千葉県立病院改革プラン」を策定し、これまで以上に経営改善に取り組んでいます。

また、安定した医療の提供のため、千葉県立病院群として初期臨床研修医25名、レジデント医33名を受け入れるなど、医師の確保・育成に努めました。

新型コロナウイルス感染症への対応については、重症病床を含む専用病床を確保して患者を受け入れたほか、宿泊療養施設やクラスターが発生した施設に対して医療従事者を派遣し、利用者の健康管理やPCR検査の実施等の支援を行うとともに、発熱外来等の専用外来を開設して感染症の疑いのある患者の診療や相談を行いました。また、各県立病院において地域の住民や他の医療機関等の医療従事者へのワクチン接種を行いました。

さらに、県が令和3年2月にがんセンター旧東病棟に開設した仁戸名臨時医療施設の運営を受託し患者を受け入れるとともに、県が設置した入院待機ステーションにも看護師を派遣しました。

令和3年度の患者数の状況は、新入院患者が18,802人（延べ259,456人、一日平均711人）、新外来患者が30,397人（延べ413,027人、一日平均1,690人）となり、前年度と比較して、新入院患者は486人増加（延べ1,988人減少、一日平均5人減少）し、新外来患者は2,430人増加（延べ20,100人増加、一日平均82人増加）となりました。

なお、各病院の事業概況は、次のとおりです。

#### (1) がんセンター

千葉県におけるがん対策の中心的役割を担っている当センターでは、「私たちは、心と体にやさしく希望の持てるがん医療を提供します」を基本理念に掲げ、がん治療のために県内全域から訪れる多くの県民に、質の高いがん医療を効率的に提供しています。

当センターは、都道府県がん診療連携拠点病院の指定を受けており、県内のがん診療連携拠点病院等に対する研修会の開催やがん診療連携協議会での情報共有等を行い、県内がん医療の均てん化に貢献しています。

また、がんゲノム医療拠点病院の指定もを受けており、県内のがんゲノム医療連携病院とともに、遺伝子パネル検査を用い、推奨治療について検討を行う専門家会議（エキスパートパネル）を毎週開催して、がんゲノム医療の推進に努めました。

さらに、小児がん連携病院（類型2：特定のがん種等についての診療を行う連携病院）の指定も受けていることから、地域に質の高い小児がん医療及び支援を提供しました。

患者総合支援センターでは、ワンストップによる患者支援を実現させるため、入退院支援、在宅療養支援、各種検査・手術説明、服薬指導を実施するとともに、がん患者から生活や就労に関する相談を受け、必要な支援に結びました。さらに、当センターの見学会の開催等を通じ、周辺医療機関との連携強化に努めました。



11月には、県民公開セミナーを開催し「新しくなったがんセンター、なにがどう変わった」をテーマに、最新がん治療などについての講演を行いました。

また、3月には、臨床検査部・臨床病理部・輸血療法部・遺伝子診断部が、臨床検査室の技術能力を証明する「ISO15189（臨床検査室-品質と能力に関する特定要求事項）」に認定されました。

当期における患者数の状況は、新入院患者が7,874人（延べ96,335人、一日平均264人）、新外来患者が6,965人（延べ140,296人、一日平均580人）で、前年度と比較して、新入院患者は363人増加（延べ1,798人増加、一日平均5人増加）し、新外来患者は227人増加（延べ9,663人増加、一日平均36人増加）となりました。

## (2)救急医療センター

重症患者に対する救急救命処置及び高度専門的な医療を行う第三次救急医療施設として、また、全県域を対象とする本県唯一の高度救命救急センターとして、心臓病、脳卒中、外傷などの救急患者及び重度の熱傷患者（熱傷センターにおける治療）、切断指（肢）患者に対し、治療・看護等の医療活動を行いました。なかでも、当センターは脳梗塞の超急性期治療として国内外で注目されている「血栓回収療法」について、24時間施行可能な体制を確立しています。

救急患者の受け入れをより迅速に行うため「循環器ホットライン」「脳卒中ホットライン」を運用するとともに、患者の回復をより効果的に進めるため、早期にリハビリを開始し、地域医療連携室を介して急性期以後を担う他の医療機関と緊密な連携を図る等の取り組みを行っています。

これらの取り組みに加え、栄養サポートチーム、感染防止対策チーム、精神科リエゾンチームのチーム医療活動を推進し、医療の質の向上に引き続き努めています。

当センターは地域災害拠点病院として災害医療にも対応することが求められており、自然災害はもとより、局所災害、化学災害、テロ等の人的災害にも対応できるよう、実践的訓練や人的・物的機能の整備を図るとともに、災害派遣医療チーム（DMAT）を編成する等、緊急時に出動できる体制整備に努めています。

設備面においては、治療水準の向上を図るため、人工呼吸器等を更新しました。

当期における患者数の状況は、新入院患者が1,937人（延べ24,709人、一日平均68人）、新外来患者が403人（延べ8,431人、一日平均23人）で、前年度と比較して、新入院患者は183人増加（延べ303人減少、一日平均1人減少）し、新外来患者は57人増加（延べ231人増加、一日平均1人増加）となりました。

## (3)精神科医療センター

当センターは、千葉県精神科医療システムの中核医療施設として、24時間体制での救急受診相談、受け入れ医療機関のコーディネート及び当センターでの救急受診などに尽力しました。当センターへの入院患者に対しては短期集中医療を提供し、早期の地域移行を目指し、退院後の患者については、一般外来診療のほか、アウトリーチや通院によるリハビリテーションを実施し、患者の地域生活の支援や再発・再入院防止に努めました。

こうした質の高い医療を提供するため、千葉県救急システム連携研修会や日本精神科救急学会等へ参加してきました。院内においても医療安全研修、感染症対策研修、包括的暴力防止プログラム研修を積極的に開催し、安心・安全な医療の提供に努めました。

また、災害派遣精神医療チーム（DPAT）の技能維持のため、DPAT事務局主催の研修・訓練に参加しました。

その他、医療観察法による鑑定入院・指定通院医療を行うとともに、措置入院患者の地域移行・治療継続支援を行い、精神障害により重大な自傷他害を行った、またそのおそれが高い患者を治療し、地域で安定して生活できるように支援しました。

当期における患者数の状況は、新入院患者が344人（延べ16,652人、一日平均46人）、新外来患者が407人（延べ26,106人、一日平均103人）で、前年度と比較して、新入院患者は3人減少（延べ707人増加、一日平均2人増加）し、新外来患者は117人増加（延べ2,990人増加、一日平均12人増加）となりました。

#### (4) こども病院

全県的な小児医療の中核病院として、一般の医療機関では対応困難な各種の小児の疾患や先天性心疾患をはじめとする重度小児疾患等の患者に対して、「児童の権利に関する条約」の基本理念のもとに、高度専門的な診断・治療等の医療を提供しています。

病棟運用においては、重症小児に安全な医療を提供し、集中治療室（ICU）、新生児集中治療室（NICU）を効率的に運用するために、ハイケアユニット12床を整備し、6月から運用を開始しました。

こども・家族支援センターで行っている早期入退院支援については、対象を拡大し、医療的ケアの必要な児に対し入院が決定した時点から介入し、多職種とともに退院支援・在宅支援を行いました。地域連携については、地域の医療機関や訪問看護ステーション、学校等と連携し、在宅療養環境を調整したり、小児臨床研究会や訪問看護ステーション公開講座を開催し、小児医療に関する情報の提供・発信を行いました。児童虐待防止については、児童虐待防止医療ネットワーク事業として、児童虐待の早期発見や深刻化の未然防止にむけた取り組みを行い、成人移行支援については、トランジション外来の運営や、千葉県成人移行期支援センターと連携して事例検討等、成人移行支援を推進しました。

医療安全については、医療安全改革プロジェクトチームで策定した、誤投薬防止、手術器具遺残防止、インフォームド・コンセントについての方針に沿って改革をさらに進める等、安全・安心で質の高い医療の提供のための取組を推進しました。

経営面では、ハイケアユニットの運用を開始してICU、NICUを有効活用するとともに、経営戦略部にてDPC分析を行い、DPC係数の増点や新たな施設基準の加算の取得に努め、収益の増加を図りました。

設備面では、施設の長寿命化及び病院機能の充実に向け、費用対効果を考慮して優先順位をつけ、計画的な施設改修を行いました。

当期における患者数の状況は、新入院患者が3,281人（延べ40,617人、一日平均111人）、新外来患者が5,395人（延べ83,068人、一日平均343人）で、前年度と比較して、新入院患者は222人減少（延べ1,910人減少、一日平均6人減少）し、新外来患者は1,327人増加（延べ3,968人増加、一日平均17人増加）となりました。

#### (5) 循環器病センター

当センターは、循環器系疾患に関する高度専門的な医療を行うとともに、内科や外科等の地域医療・救急医療を行い、地域の救急基幹センターとしての役割を担っています。

循環器系疾患に関する高度専門医療として、急性心筋梗塞、狭心症に対する経皮的冠動脈形成術、心房細動などに対するカテーテルアブレーション治療、大動脈ステント治療などを行うとともに、植え込み型デバイス治療において、不適切作動症例、デバイス感染など、植え込まれたリードを含めたデバイ

ス抜去が必要となる患者に対する「リード抜去術」や、通常の経皮的バルーン血管形成術（POBA）が困難な症例に対する「エキシマレーザ冠動脈形成術」といった新たな手技を行っています。

また、院内の多職種で構成する「てんかんセンター」を設置し、内科治療や「難治性てんかん」に対する外科治療、社会復帰支援など包括的なてんかん医療に取り組んでおり、本年度は昨年度に引き続き、てんかんの専門医療を行うことのできる体制や診療ネットワークを整備することを目的とした、「てんかん支援拠点病院」の指定を県から受けました。

令和3年度の実践として4月よりオンライン診療システムを導入し、遠方からの通院患者に対しオンライン診療を用いて頻繁に外来診療を行うことで、服薬コンプライアンスの向上と適切な薬剤コントロールを図っています。

さらに、災害拠点病院として災害医療に対応するとともに、DMATを編成する等、自然災害はもとより、人的災害等の緊急時に出勤できる体制整備に努めています。

当期における患者数の状況は、新入院患者が3,056人（延べ43,161人、一日平均118人）、新外来患者が5,573人（延べ74,404人、一日平均307人）で、前年度と比較して、新入院患者は63人増加（延べ522人増加、一日平均1人増加）し、新外来患者は348人増加（延べ2,531人増加、一日平均11人増加）となりました。

#### (6)佐原病院

当院は、高齢化が進展している香取地域において急性期医療を支える中核病院として、高齢者に多い肺炎、呼吸不全、消化器系疾患、脱水症、大腿骨骨折などへの対応のほか、罹患率の高い消化器がんなどの疾患に対応した医療の提供を行うとともに、人間ドックや健康診断などの予防医療にも取り組んでいます。

当院の特長として、障害のある方や児童への歯科治療、整形外科において手の外科、肩・肘関節、スポーツ整形の専門外来を行うほか、肝臓専門外来や地域包括ケア外来では千葉大学医学部附属病院と連携し各専門領域の外来診療を行っています。

また、救急基幹センターとして引き続き24時間365日の救急外来を担うほか、災害時の医療救護活動の拠点となる災害拠点病院として重要な役割を担うとともに、DMATを編成するなど、緊急時に出勤できる体制整備に努めています。

さらに、24時間患者対応が可能である訪問看護ステーションでは、地域の住民が必要な医療や介護を受けながら自宅や施設で暮らし続けることができるようサポートしています。また、香取郡市医師会より当院が運営を受託している「かとり地域在宅医療支援センター」では、患者・家族、医療・介護関係者や地域包括支援センターなどからの在宅医療に関する相談に対応するとともに、医療と介護関係者の連絡調整や、患者・家族の要望を踏まえた医療機関・介護事業者相互の紹介など、地域の医療機関や介護関係者などと連携を図りながら必要な支援を行っています。

加えて、4月1日に病床数を241床から199床へ変更し、在宅療養支援病院の認定を受けました。訪問診療・訪問看護と連携を取り、在宅療養を行っている患者が住み慣れた地域で安心して療養生活を送り、また緊急時には直ちに入院できるような体制を整備することによって、急性期医療だけでなく、在宅療養を担う地域の中核病院としての役割を果たしています。

当期における患者数の状況は、新入院患者数が2,310人（延べ37,982人、一日平均104人）、新外来患者が11,654人（延べ80,722人、一日平均334人）で、前年度と比較して、新入院患者は102人増加（延べ2,802人減少、一日平均8人減少）し、新外来患者は354人増加（延べ717人増加、一日平均5人増加）となりました。

(7) 患者数の状況

施設名	区分	入院(人)	外来(人)	手術(件)	相談(外来・電話) (件)
がんセンター	延べ人数	96,335	140,296	5,331	
	一日平均	264	580	14.6	
救急医療センター	延べ人数	24,709	8,431	2,915	
				315	
	一日平均	68	23	8.0	0.9
精神科医療センター	延べ人数	16,652	26,106		36,669
	一日平均	46	103		100.4
こども病院	延べ人数	40,617	83,068	1,490	
	一日平均	111	343	4.1	
循環器病センター	延べ人数	43,161	74,404	302	
				287	
	一日平均	118	307	0.8	0.8
佐原病院	延べ人数	37,982	80,722	1,001	
	一日平均	104	334	2.7	
計	延べ人数	259,456	413,027	11,039	36,669
				602	
	一日平均	711	1,690	30.2	100.4
				1.7	

※手術欄の2段書きの下段は、経皮経管的冠動脈形成術(P T C A)等で別掲

※表示単位未満四捨五入のため、積み上げが一致しない場合がある

(注) 入院の1日平均患者数は、年間の日数により計算し、外来の1日平均患者数は、休日を除く診療日数により計算した。

2. 経理の状況

(1) 予算の執行状況（令和3年4月1日から令和4年3月31日まで）

ア 収益的収入及び支出

収 入

(単位：千円)

区 分	予 算 額			執 行 額	執 行 率
	現年度分	繰越分	計		
病院事業収益	51,493,017		51,493,017	53,590,700	104.1 %
医業収益	32,415,755		32,415,755	33,294,937	102.7
医業外収益	19,020,326		19,020,326	20,197,342	106.2
特別利益	56,936		56,936	98,421	172.9

支 出

(単位：千円)

区 分	予 算 額			執 行 額	執 行 率
	現年度分	繰越分	計		
病院事業費用	55,721,998		55,721,998	54,194,084	97.3 %
医業費用	54,563,195		54,563,195	53,177,369	97.5
医業外費用	1,107,013		1,107,013	950,972	85.9
特別損失	51,790		51,790	65,743	126.9

イ 資本的收入及び支出

収 入

(単位：千円)

区 分	予 算 額			執 行 額	執 行 率
	現年度分	繰 越 分	計		
資 本 的 収 入	5,520,674	1,193,667	6,714,341	4,602,580	68.5 %
企 業 債	3,831,000	1,192,000	5,023,000	2,966,000	59.0
他 会 計 負 担 金	1,526,670	1,667	1,528,337	1,482,261	97.0
国 庫 補 助 金	163,004		163,004	154,319	94.7

支 出

(単位：千円)

区 分	予 算 額			執 行 額	執 行 率
	現年度分	繰 越 分	計		
資 本 的 支 出	6,497,837	1,213,143	7,710,980	6,433,243	83.4 %
建 設 改 良 費	4,363,968	1,213,143	5,577,111	4,307,850	77.2
企 業 債 償 還 金	2,133,783		2,133,783	2,125,393	99.6
国庫補助金等返還金	86		86		

## (2) 損益計算書

(令和3年4月1日から令和4年3月31日まで)

(単位：千円)

費用		収益	
科目	金額	科目	金額
医業費用	51,149,339	医業収益	33,232,399
給与費	26,851,854	入院収益	20,536,875
材料費	12,753,942	外来収益	12,158,577
経費	7,289,827	その他医業収益	536,947
減価償却費	3,726,547	医業外収益	20,153,095
資産減耗費	44,095	国庫補助金	3,974,970
研究研修費	110,608	負担金交付金	13,251,678
長期前払消費税勘定償却	372,466	患者外給食収益	17,779
医業外費用	2,883,945	研究受託収益	341,055
支払利息及び企業債取扱諸費	264,608	長期前受金戻入	1,871,132
患者外給食材料費	14,586	その他医業外収益	696,481
受託研究費	215,604	特別利益	98,352
雑損失	2,389,147	過年度損益修正益	84,325
特別損失	65,303	その他特別利益	14,027
過年度損益修正損	51,413		
その他特別損失	13,890		
		当期純損失	614,741
合計	54,098,587	合計	54,098,587

## (3) 貸借対照表

(令和4年3月31日現在)

(単位：千円)

資 産		負 債 及 び 資 本	
科 目	金 額	科 目	金 額
固 定 資 産	63,384,737	固 定 負 債	57,720,851
有 形 固 定 資 産	58,934,407	企 業 債	47,856,524
土 地	6,755,272	他 会 計 長 期 借 入 金	3,700,000
償 却 資 産	102,610,625	引 当 金	6,164,327
減 価 償 却 累 計 額	△53,755,333	流 動 負 債	10,680,341
建 設 仮 勘 定	3,290,034	企 業 債	2,666,148
そ の 他 有 形 固 定 資 産	33,809	未 払 金	6,192,082
無 形 固 定 資 産	1,324,879	引 当 金	1,569,565
投 資 そ の 他 資 産	3,125,451	そ の 他 流 動 負 債	252,546
流 動 資 産	10,647,081	繰 延 収 益	4,800,071
現 金 預 金	2,391,329	長 期 前 受 金	28,691,330
未 収 金	7,429,084	長 期 前 受 金 収 益 化 累 計 額	△23,891,259
貯 蔵 品	699,776	負 債 計	73,201,263
前 払 費 用	133	資 本 金	12,616,892
前 払 金	126,759	自 己 資 本 金	12,616,892
		剰 余 金	△11,786,337
		資 本 剰 余 金	14,901,027
		利 益 剰 余 金	△26,687,364
		当 年 度 未 処 理 欠 損 金	△26,687,364
		資 本 計	830,555
合 計	74,031,818	合 計	74,031,818



## 5. 流域下水道事業会計

# I 令和4年度上期の事業概況

## 1. 事業の概況

流域下水道事業は、2以上の市町村から下水を受けて、終末処理場で集約して処理するもので、都道府県が管理する下水道です。

千葉県では、県民の生活環境の向上とともに公共用水域の広域的な水質保全という観点から、昭和43年度に印旛沼流域下水道、昭和46年度に手賀沼流域下水道、昭和47年度に江戸川左岸流域下水道にそれぞれ事業着手し、市街地の生活環境整備と公共用水域の水質保全に重要な役割を担っています。

また、江戸川左岸流域下水道では、流入汚水量の増加に対応するために整備を進めてきた江戸川第一終末処理場の一部施設の供用を令和3年3月1日に開始しました。

本期における関連市町が運営する公共下水道からの流入水量は、1億9,094万689立方メートルです。  
なお、各流域の業務状況は次のとおりです。

(令和4年4月1日から令和4年9月30日まで)

流域名	関連市町数	本期流入水量	日平均流入水量
印旛沼	13	77,543,150 m <sup>3</sup>	423,733 m <sup>3</sup>
手賀沼	7	41,014,193	224,121
江戸川左岸	8	72,383,346	395,537
計	20 <sup>※1</sup>	190,940,689	1,043,391

※1 1市が全流域に、2市が印旛沼・手賀沼に、1市が印旛沼・江戸川左岸に、3市が手賀沼・江戸川左岸に関連するため、重複分を除く。

2. 経理の状況

(1) 予算の執行状況（令和4年4月1日から令和4年9月30日まで）

ア 収益的収入及び支出

収 入

(単位：千円)

区 分	予 算 額			執 行 額	執 行 率
	現 年 度 分	繰 越 分	計		
流域下水道事業収益	36,322,461		36,322,461	11,926,120	32.8 %
営 業 収 益	23,962,276		23,962,276	11,916,765	49.7
営 業 外 収 益	12,360,185		12,360,185	9,355	0.1

支 出

(単位：千円)

区 分	予 算 額			執 行 額	執 行 率
	現 年 度 分	繰 越 分	計		
流域下水道事業費用	36,322,461	248,683	36,571,144	5,197,523	14.2 %
営 業 費 用	35,553,081	248,683	35,801,764	5,062,528	14.1
営 業 外 費 用	569,380		569,380	134,995	23.7
予 備 費	200,000		200,000		

イ 資本的収入及び支出

収 入

(単位：千円)

区 分	予 算 額			執 行 額	執 行 率
	現 年 度 分	繰 越 分	計		
資 本 的 収 入	13,848,929	4,507,048	18,355,977		%
国 庫 補 助 金	5,851,700	2,511,590	8,363,290		
企 業 債	2,997,200	986,240	3,983,440		
建 設 費 負 担 金	2,857,763	1,009,218	3,866,981		
他 会 計 補 助 金	2,142,266		2,142,266		

支 出

(単位：千円)

区 分	予 算 額			執 行 額	執 行 率
	現 年 度 分	繰 越 分	計		
資 本 的 支 出	15,117,197	4,530,025	19,647,222	1,380,900	7.0 %
建 設 改 良 費	11,115,527	4,530,025	15,645,552	539,664	3.4
資 産 購 入 費	451,703		451,703		
企 業 債 償 還 金	1,623,624		1,623,624	841,236	51.8
そ の 他 資 本 的 支 出	1,926,343		1,926,343		

## (2) 損益計算書

(令和4年4月1日から令和4年9月30日まで)

(単位：千円)

費 用		収 益	
科 目	金 額	科 目	金 額
営 業 費 用	11,626,923	営 業 収 益	10,833,422
管 渠 費	25,081	維 持 管 理 費 負 担 金	10,816,227
ポ ン プ 場 費	114,693	そ の 他 営 業 収 益	17,195
処 理 場 費	4,320,414		
総 係 費	163,983	営 業 外 収 益	6,026,668
減 価 償 却 費	7,002,752	長 期 前 受 金 戻 入	6,017,589
		雑 収 益	9,079
営 業 外 費 用	134,995		
支 払 利 息 及 び 企 業 債 取 扱 諸 費	134,995		
当 期 純 利 益	5,098,172		
合 計	16,860,090	合 計	16,860,090

## (3) 貸借対照表

(令和4年9月30日現在)

(単位：千円)

資 産		負 債 及 び 資 本	
科 目	金 額	科 目	金 額
固 定 資 産	374,914,870	固 定 負 債	45,936,873
有 形 固 定 資 産	367,677,600	企 業 債	45,936,873
土 地	61,815,609		
償 却 資 産	333,701,209	流 動 負 債	8,716,726
減 価 償 却 累 計 額	△34,491,630	企 業 債	2,401,785
建 設 仮 勘 定	6,652,412	未 払 金	893,366
無 形 固 定 資 産	24,018	前 受 金	2,806,522
投 資 そ の 他 の 資 産	7,213,252	そ の 他 流 動 負 債	2,615,053
流 動 資 産	16,100,547	繰 延 収 益	259,030,733
現 金 預 金	5,508,688	長 期 前 受 金	288,384,006
未 収 金	5,612,570	長 期 前 受 金 収 益 化 累 計 額	△29,353,273
前 払 費 用	175,830		
前 払 金	1,475,556	負 債 計	313,684,332
そ の 他 流 動 資 産	3,327,903		
		資 本 金	24,817,167
		剰 余 金	52,513,918
		資 本 剰 余 金	46,911,520
		利 益 剰 余 金	5,602,398
		資 本 計	77,331,085
合 計	391,015,417	合 計	391,015,417

## Ⅱ 令和3年度の決算状況

### 1. 事業の概況

令和3年度における流域下水道事業は、令和2年3月に策定した「千葉県流域下水道事業経営戦略」に基づく取組を実施し、「快適で良好な生活環境の創造」、「安全で安心なまちづくり」、「安定した経営基盤の確立」の3つを目標として事業を推進しました。

#### (1) 工事の状況

江戸川左岸流域下水道では、流入汚水量の増加に対応するために江戸川第一終末処理場の整備を推進しているところですが、令和3年度は、江戸川第一終末処理場水処理第2系列土木工事等を実施しました。

また、「千葉県流域下水道ストックマネジメント計画」及び各流域「総合地震対策計画」に基づき、施設の改築・更新、地震対策工事等を実施しました。

#### (2) 業務の状況

令和3年度における関連市町が運営する公共下水道からの流入水量は3億8,735万8,570立方メートル、日平均流入水量は106万1,256立方メートルでした。

各流域の業務状況は次のとおりです。

流域名	関連市町数	年間流入水量	日平均流入水量
印旛沼	13 <sup>市町</sup>	158,547,395 <sup>m<sup>3</sup></sup>	434,376 <sup>m<sup>3</sup></sup>
手賀沼	7	84,019,257	230,190
江戸川左岸	8	144,791,918	396,690
計	20 <sup>※1</sup>	387,358,570	1,061,256

※1 1市が全流域に、2市が印旛沼・手賀沼に、1市が印旛沼・江戸川左岸に、3市が手賀沼・江戸川左岸に関連するため、重複分を除く。

2. 経理の状況

(1) 予算の執行状況（令和3年4月1日から令和4年3月31日まで）

ア 収益的収入及び支出

収 入

(単位：千円)

区 分	予 算 額			執 行 額	執 行 率
	現 年 度 分	繰 越 分	計		
流域下水道事業収益	34,400,059		34,400,059	33,138,684	96.3 %
営 業 収 益	22,376,982		22,376,982	20,985,413	93.8
営 業 外 収 益	11,958,624		11,958,624	12,088,195	101.1
特 別 利 益	64,453		64,453	65,076	101.0

支 出

(単位：千円)

区 分	予 算 額			執 行 額	執 行 率
	現 年 度 分	繰 越 分	計		
流域下水道事業費用	34,400,059	127,600	34,527,659	32,932,908	95.4 %
営 業 費 用	33,454,126	127,600	33,581,726	32,262,233	96.1
営 業 外 費 用	745,933		745,933	669,987	89.8
特 別 損 失				688	
予 備 費	200,000		200,000		



イ 資本的収入及び支出

収 入

(単位：千円)

区 分	予 算 額			執 行 額	執 行 率
	現 年 度 分	繰 越 分	計		
資 本 的 収 入	8,589,762	4,694,479	13,284,241	8,080,351	60.8 %
国 庫 補 助 金	2,865,100	2,777,049	5,642,149	2,925,509	51.9
企 業 債	1,934,100	946,900	2,881,000	1,719,500	59.7
建 設 費 負 担 金	1,683,307	970,530	2,653,837	1,328,087	50.0
他 会 計 補 助 金	2,107,255		2,107,255	2,107,255	100

支 出

(単位：千円)

区 分	予 算 額			執 行 額	執 行 率
	現 年 度 分	繰 越 分	計		
資 本 的 支 出	9,846,517	4,718,109	14,564,626	9,398,451	64.5 %
建 設 改 良 費	6,220,266	4,103,109	10,323,375	5,173,153	50.1
資 産 購 入 費	11,452	615,000	626,452	610,501	97.5
企 業 債 償 還 金	1,695,547		1,695,547	1,695,545	100.0
そ の 他 資 本 的 支 出	1,919,252		1,919,252	1,919,252	100

## (2) 損益計算書

(令和3年4月1日から令和4年3月31日まで)

(単位：千円)

費 用		収 益	
科 目	金 額	科 目	金 額
営 業 費 用	30,634,367	営 業 収 益	19,077,648
管 渠 費	250,038	維 持 管 理 費 負 担 金	18,953,564
ポ ン プ 場 費	288,712	そ の 他 営 業 収 益	124,084
処 理 場 費	15,866,248		
総 係 費	443,403	営 業 外 収 益	12,087,857
減 価 償 却 費	13,765,710	他 会 計 負 担 金	10,123
資 産 減 耗 費	20,256	他 会 計 補 助 金	308,511
		長 期 前 受 金 戻 入	11,759,572
営 業 外 費 用	395,114	雑 収 益	9,651
支 払 利 息 及 び 企 業 債 取 扱 諸 費	394,525		
そ の 他 営 業 外 費 用	589	特 別 利 益	65,074
		過 年 度 損 益 修 正 益	125
特 別 損 失	688	そ の 他 特 別 利 益	64,949
そ の 他 特 別 損 失	688		
当 期 純 利 益	200,410		
合 計	31,230,579	合 計	31,230,579

## (3) 貸借対照表

(令和4年3月31日現在)

(単位：千円)

資 産		負 債 及 び 資 本	
科 目	金 額	科 目	金 額
固 定 資 産	381,582,517	固 定 負 債	45,936,873
有 形 固 定 資 産	374,345,247	企 業 債	45,936,873
土 地	61,984,661		
償 却 資 産	333,701,209	流 動 負 債	12,309,522
減 価 償 却 累 計 額	△27,488,878	企 業 債	3,243,021
建 設 仮 勘 定	6,148,255	未 払 金	6,087,337
無 形 固 定 資 産	24,018	前 受 金	1,507,539
投 資 そ の 他 の 資 産	7,213,252	引 当 金	77,616
		そ の 他 流 動 負 債	1,394,009
流 動 資 産	13,945,112		
現 金 預 金	8,963,214	繰 延 収 益	265,048,322
未 収 金	2,992,601	長 期 前 受 金	288,384,006
前 払 費 用	31,700	長 期 前 受 金 収 益 化 累 計 額	△23,335,684
前 払 金	338,197		
そ の 他 流 動 資 産	1,619,400	負 債 計	323,294,717
		資 本 金	24,817,167
		剰 余 金	47,415,745
		資 本 剰 余 金	46,911,520
		利 益 剰 余 金	504,225
		資 本 計	72,232,912
合 計	395,527,629	合 計	395,527,629